



ここ飯田でも暖かい風が吹き、花香る春がもうそこまで来ているのを感じます。皆様いかがお過ごしでしょうか？日頃より和太鼓TOKARAを応援下さり、誠に有難うございます。

私達は2月中旬から滞在したカナダのケローナ市から先日無事帰国致しました。およそ4週間の滞在は息を吐く間もない程の速さで過ぎ去って行きましたが、本当に充実した毎日を送る事が出来ました。

ここに簡単ながらカナダツアーのご報告をお送りさせていただきます。

2月18日、成田空港に和太鼓TOKARA メンバー集結です。日本から飛行機で8時間半。北アメリカ大陸の西海岸バンクーバーに向かいます。そこから更に車で内陸に4時間。ロッキー山脈の脇を抜けて山を下ると、オカナガン湖のほとりに、今回のツアーの拠点、ケローナ市が見えてきます。

さて私達がこの街を訪れたのにはもちろん理由があります。今回この周辺にある全ての小学校で学校公演をする機会を頂いたのです。31校を10日で回るスケジュール。確かにハードです。でも、私達が大好きな学校公演。メンバー同様に心待ちにしていました。

なぜ学校公演が好きなのか？子供達は本当に素直に興奮を一杯で表現してくれます。今まで見た事も聞いた事もない「和太鼓」に大興奮です。(時には興奮させ過ぎてしまう事も…。反省…。) 同時に真剣に私達の話聞いてくれます。私達は、いつも曲と曲の間に太鼓の事や日本の事など少しずつ話をして紹介させていただきます。子供達や先生方に体験してもらおうコーナーや質問コーナーも。1校に滞在出来る時間は限られていますが、沢山の子供達に会える事は本当に幸いです。

私達の毎日の過ごし方はこんな感じです。朝暗いうちにメンバーは起き、先ずは朝ごはん…とはいきません。最初にご飯を鍋で炊いて…お昼ごはん用に、おにぎり作り！そして締め太鼓もしっかり締めなくてはなりません。(そうなんです！締め太鼓はローブを締めることで音が上がります。私達は毎回演奏や練習の前にローブを締め上げ太鼓の音を高くします。そして演奏が終わると必ず緩めて置きます。大切なメンテナンスです。)この締め太鼓を締める作業、ウォーミングアップに最適ですが、私達の手は摩擦熱に耐える為硬くなります。もしかしたら摩擦熱で焼けているのかも…。しかしそれもトレーニングの一環です！さあ、出発前に大切な朝ごはんもしっかり食べて…と、落ち着いている暇はありません！子供達が待っています。早速、私達はバン2台に乗り込みます。この小学校公演

のプログラム、1日に3校を回るスケジュール。しかも、カナダの小学校の下校時刻は2時30分。それまでに3公演を終えなくてはなりません。最初の公演は8時半から始まります。準備のため子供達より早く登校です(笑)。演奏が終わると慌しく片付けてバンに太鼓もメンバーも急いで乗り込み次の学校へ。片付け撤収から移動時間も次の公演の準備も合わせて45分。あっという間に2校目の公演が終わり、お昼は移動の車の中です。やはりこんな時は、おにぎりが一番!! お米は「カ」になります。3校目は12時30分から。こうして1日の学校公演があっという間に終わっていきます。3月9日まで以上の様な毎日が続きました。

では、週末はお休み？ いえいえ！しっかり太鼓三昧です。3月7日は、周辺の太鼓チームの皆さんとワークショップです。地元ケローナ市には「やまびこ太鼓」というチームが有り積極的に活動されています。又、少し離れたケンループス市から「雷電太鼓」や、車で7時間もかけて駆けつけて下さったカルガリーの「ミッドナイト太鼓」の皆さんも集まって6時間のワークショップはあっという間に終わりました。

次の日はお休み？ いえいえ、この日はコンサートです!! 春日井市からいらしたアンサンブルリベルタの皆様とのジョイントコンサート。昨年大好評頂き今年も一緒に公演させて頂きました。満席のお客様との楽しい時間、本当に有難うございました。

カナダにお邪魔するのはこれで3年連続となりました。多くの新しい出会いがありました。同時に大切な方々の再会も。「また会おう」「また来てね」のお言葉に励まされ、前に進む力を戴いたツアーでした。お会い出来た皆様、支えて下さった皆様感謝申し上げます。

"ピンク色の1日"

2月25日の朝。学校公演3日目。訪れた1校目の小学校でピンク色のシャツを着た男性の校長先生が温かく私達を迎えて下さいました。素敵なシャツだと思っていると、そこに現れた女性の先生も素敵なピンク色のシャツを着ています。良く見ると廊下を通り過ぎる先生も子供達もピンク色の服装が目につきます。そしてみんなが体育館に現れると…やはり不思議な程、みんな…ピンク色…なのです!

よくよく聞いてみると、この日はピンク色のTシャツがシンボルの「イジメをしない日」なのだそう。由来をたずねてみました。

7年前、カナダの東海岸の有る学校の新学期1日目。一人の男の子がピンク色の服を着て登校して来ました。その男の子は「ピンクは女の子の色だ」と冷やかされ、イジメを受ける様

になりました。それを見た別の男の子が2人、ある日、自分達もピンク色の服を着て登校して来たのだそうです。それだけではありません。子供用のピンク色のTシャツを"50着!!" 持って来て他の男の子達にも配りました。「ピンクは女の子だけの色じゃない。みんなで着ようじゃないか!!」と言う勇気ある彼らの行動で、男の子がいじめられる事は無くなったのだそうです。この25日に訪れた学校でも「Be Brave to Wear Pink ピンクを着る事に勇気を持って」というプリントがされたTシャツを着ている男の子を見かけました。ピンク色の服だけに限らず、「イジメをしない日」という素晴らしいメッセージだと思いました。そして年を追うごとに、カナダ全土に、いいえ、今や世界にも広がったこの「イジメをしない日」。ピンク色に染まった体育館を見ながら「イジメをやめよう」というメッセージと共に、日本にも、広がったいいなと思わずにはいられませんでした。

"From Your Heart" ~フロム ユア ハート(心から)~

3月9日。滞在中のカナダケローナ市は夏をも思わせる陽気です。この日私達は、ケローナ市周辺の全小学校を回る学校公演の最終日を迎えました。最終公演を終えて、メンバーの一言「本当に稲妻のようだったね。」確かに月曜日から金曜日まで毎日3公演、2週間で30校。最後の1校を加え、2週間と1日。出逢った子供達は自分達も驚きの、およそ1万2千人!!

何と楽しい毎日だったでしょう。31回の同じプログラム。しかし同じ公演であった事は一度もありません。学校変われば子供達の反応、先生方の反応、学校の雰囲気も随分変わります。全生徒が立ち上がって踊ってくれた学校。余りの音の大きさに子供達が泣き出してしまった学校。全生徒に事前に耳栓が配られていた学校…。2月25日は「イジメをしない日」みんながピンク色の服を着ていました。3月3日には、ひな祭りの歌を歌って紹介をしました。本当に様々な事が思い出されます。

そんな中で、このカナダツアー中、私達は忘れられない一言に出会った特別な日がありました。ここに紹介させていただきます。

その日、公演の中で子供達の体験コーナーをしていた時でした。先ずはパチの握り方の説明「ギュッと握らないですよ。優しく握手する様に握ります。そうするといい音がでます。それから…大きな良い強い音を出すには、もうひとつ大切な事があります。さあ、良い音は何処から来るのでしょうか…」と、ここまで説明した私の耳に飛び込んできた言葉がありました。それは…「From your heart (あなたの心から)」と

カナダツアー報告編 P.2



言う一言。一瞬耳を疑ってしまいそうになり、つい声のした方を見ました。最前列に座っていた男の子が私を見上げていました。この時私が説明しようとしたのは、「しっかり足を開いて、腰を落として…」という「立ち方」についてでしたが、この5~6歳の男の子の発した一言…「心で打つこと」は、バチの握り方より、立ち方より大切な事であると同時に、本当に「良い音」を出す為によりも必要な事だと思います。本当に本当に、その通りなのです！それを小さな子が口に出して発してくれた事が嬉しくもあり、驚きでもありました。一瞬「From your heart」の一言が私の身体の中をこだしました。

太鼓の音は心の音だと思います。この日初めて太鼓を観たこの男の子が感じてくれた事が嬉しくて、「From your heart (あなたの心から)」と言ってくれた事が嬉しくて、一瞬息も止めてしまう程でした。彼の一言は、その日1日私達を本当に幸せにしてくれました。そればかりか今でもあの一瞬の喜びを忘れる事が出来ません。きっとこれからもずっと…

私達は色々な公演の中でも学校公演が大好きです。日本に拠点を置きながら、多国籍のメンバーから成る和太鼓TOKARAは、特殊なグループと言えるかもしれません。そんな私達だからこそ、和太鼓は日本だけ日本人だけに留まらない美しい音楽芸術であり、世界にそれを広めること、和太鼓を通して海外と日本を繋げる架け橋になることが自分たちの使命だと感じています。

11年前に和太鼓TOKARAをはじめた頃から学校公演は私達にとって特別な経験でした。子供達は、和太鼓のグループでありながら、日本人だけではなく多国籍のメンバーで構成された私達の演奏を体感し、国籍や性別、年齢外見などに囚われず、自分の信じた道、決めた道を貫き、作り上げて来たステージを目を輝かせて観ていてくれます。

人生にとって、国籍性別外見が大切なのでは無く、プライドを捨て、謙虚に、がむしゃらなほど夢中に、懸命に、自身の道を貫き通し、鍛錬を積み上げる事が大切であると思います。

子供達の反応や感想は大人よりずっと正直で、柔軟で、私達のこのメッセージをよく理解してくれる事にいつも感心させられます。この正直で純粋な子供達との関わりが私達は大好きです。

この2週間と1日の学校公演を終え、改めて自分達の音楽を世界中のもっと多くの子供達に届けようという決意を固めた次第です。

今後ともTOKARAどうぞよろしく願い致します。

2015年 6月27日(土) 開場: 18:30 開演: 19:00 飯田市民館
第10回幸い下伊那和太鼓フェスティバル
スーパーショー

特別出演: 和太鼓 倭 (奈良美)

出演: 和太鼓 TOKARA (長野県飯田市)

スーパーショー チケット販売中

飯田市民館	0265-22-1132	入場料>全席自由
平安堂飯田店	0265-24-4545	大人: 3000円 (当日3500円)
平安堂飯田支店	0265-23-4646	子供: 2000円 (当日2500円)
アピタ飯田店	0265-35-9211	<5才から高校生まで>

訪観回数53カ国
総公演回数3000回以上
観客動員数600万人突破
年間150~200公演のワールドツアー!!!
2013~2014年に掛けて、日本全国47都道府県、全道ツアーを行った!!!
和太鼓「和太鼓 倭」について、今年スーパーショーにて飯田市視/フォーメーション!!!

3月7日に和太鼓TOKARAは結成11年を迎えました。新しいTOKARAを作り上げている真っ最中です。いつ全てのカタチが出来上がり皆様にお届けできるかはまだ未定です。新しいツアーの告知までにはもう少し時間を下さい。

しかし、太鼓って素晴らしい! エネルギーが渦巻いて私達を前へ前へと進めてくれているのを実感します。

今年は「幸い下伊那和太鼓フェスティバル」いよいよ10回を数えます。6月27日開催が決定致しました。今回は特別ゲストに和太鼓倭の皆さんが来飯予定です。10年分の集大成に相応しく、そして新しいTOKARAを垣間見れる様な熱いステージを作り上げて参ります。どうぞご期待下さい。

そして今年もアンサンブルリベルタの皆様のツアー「倭の風」にゲスト出演させて頂く予定です。詳細は随時ホームページ等でもお伝えさせて頂きます。

アンサンブルリベルタは和楽器お琴や三味線と尺八にシンセサイザーや打楽器、コントラバス、フルート、リコーダーのメンバーからなるグループです。演奏されるジャンルも様々。古典は勿論のことビートルズも熱せば、クラシックからジャズ、ラテン、演歌にアニメソング…。ハチャコッリアンの「剣の舞」を三味線と尺八で演奏出来る方を、リベルタの皆さんの他に観たことがありません! 本当に素晴らしいグループです。まだご覧になられていない方、是非、公演に足を運んでみて下さいませ。

“WHAT'S ON” これからの公演予定

6月6日

倭の風(Yamato no Kaze)
岐阜県八百津町 - 中央公民館

6月27日

幸い下伊那和太鼓フェスティバル
長野県飯田市 - 中央公民館

7月4日

倭の風(Yamato no Kaze)
三重県 - 川越あいあいホール

7月10日

倭の風(Yamato no Kaze)
大阪市 - 河内長野野ラブリール

7月12日

倭の風(Yamato no Kaze)
岐阜県郡上市 - 日本まん真ん中センター

7月31日

倭の風(Yamato no Kaze)
愛知県豊橋市 - 市民文化会館

8月1日

倭の風(Yamato no Kaze)
岐阜県恵那市 - 文化会館

9月23日

倭の風(Yamato no Kaze)
名古屋市 - 芸術創造センター

10月16日

倭の風(Yamato no Kaze)
ドイツ

10月17日

倭の風(Yamato no Kaze)
ドイツ

10月21-26日

倭の風(Yamato no Kaze)
フィンランド

10月 - 12月

ヨーロッパツアー

和太鼓 TOKARA 事務所

〒395-0826 長野県飯田市松尾水城3598

TEL: 0265-59-8768 Email: info@tokara.net ウェブサイト: www.tokara.net